

具体の施策例(中間とりまとめ本文より)

3.1 河川機能面から見た方向性
3.1.1 洪水に対する安全性について
(1)洪水氾濫に対する安全の向上
堤防整備や河道整備、内水排水ポンプ等の施設整備 ハザードマップの整備などの地域住民自らが対応する避難対策
(2)ダムによる洪水調節機能の向上
早明浦ダム等の既存施設の有効利用 新規ダムの建設
3.1.2 水利用の安定性について
(1)水利用の検証と効率的な水利用
吉野川総合開発以前の分水や最近の吉野川の水利用等の状況把握 有効利用の可能性、水利用方法の見直しの検討 自己水源の状況を常時把握 水管理の高度化 水源のネットワーク化 渇水時における吉野川の効率的な水利用 発電専用容量から上水への活用措置に対するの合理的な議論 利水調整者の権限強化などの検討
(2)水利用の安定性の向上
既得用水の減量分と新規開発用水の未利用分の有効利用 早明浦ダム等の既存施設の有効利用 水の再配分 新規ダムの建設
3.1.3 環境について
(1)ダム下流の河川環境の改善
早明浦ダムの放流設備改築 早明浦ダムの選択取水設備の運用改善 環境用水の放流パターンの試行改善やダムの弾力的な運用
(2)良好な水環境の確保
水量の確保、水質の確保 下水道整備や流域からの汚濁物質の発生源対策などの多面的な施策 河川水と地下水の一体的管理について検討
(3)地球温暖化の緩和
水力発電の地球環境面からの評価

具体の施策例(中間とりまとめ本文より)

3.2 地域社会面から見た方向性

3.2.1 水源地域について

(1)水源地域の活性化

水源地域と受益地域の交流連携

(2)森林の保全

民有林と国有林が連携した森林整備の推進

民有林の森林整備に対する関係機関の持続的支援

3.2.2 受益地域について

(1)湧水に強い社会システムの構築

水利用の高度化

節水型社会の構築

市民への節水意識の啓発

(2)緊急時の用水の確保

緊急時の用水の確保

3.3 水事情の相互関係から見た方向性

(1)水問題の解決のための総合的な方策について

水の再配分【再掲】

早明浦ダム等の既存施設の有効利用【再掲】

新規ダムの建設【再掲】

早明浦ダムの放流設備改築【再掲】

早明浦ダムの選択取水設備の運用改善【再掲】

環境用水の放流パターンの試行改善やダムの弾力的な運用【再掲】

現在の制度にない県境を越える負担の再配分のメカニズムの検討

広域的な水利用調整組織の検討

(2)適正な相互関係の構築について

個々の課題に対して、それぞれのアプローチについて長所・短所の整理

3.4 四国人の相互理解の向上のための留意事項

(1)情報の共有化

水問題に関する情報の共有化と認識の統一化

継続的かつ計画的な広報活動の実施

水問題に関するポータルサイトの開設

住民にわかりやすく理解が得やすい情報提供方法の工夫

(2)取り組みの評価

地域毎の治水・利水・環境それぞれに対する経済的効果について検討

受益と負担の関係を評価できるシステム構築について検討

(3)交流と連携

水源地域と受益地域の交流連携【再掲】

水源地域と受益地域が相互に理解を深めるための交流の場の拡大